

Point

玄関、廊下、リビングなど、すぐに持ち出せる場所に置くようにしましょう

非常持出品・備蓄

準備するものにチェックをしましょう。(非常持出品袋の保管場所: 玄関)



Point

非常持出品袋には、持ち運んで逃げるための必要最低限のものを入れましょう。袋に入れるもの以外の数日分の食料や水等については、自宅に備蓄するようにしましょう

小さな子ども

- 母子健康手帳
- おむつ・おしりふき
- ミルク・ほにゅうびん
- だっこひも など

Point

メガネや持病の薬など、それがないと生きていけないものは用意しておきましょう。また、アレルギーに対応した食料も必ずしも備蓄されているとは限らないため用意しておくようにしましょう

その他生活を送る上で必要なもの(メガネ・生理用品・髪ゴムなど)

(アルミブランケット・お薬手帳・卵小麦不使用クッキー・メガネ・生理用品・カイロ・せんす(夏))
 ★日ごろから持っておくもの
 お父さん: カロリーバー・ミニライト・モバイルバッテリー・携帯トイレ・常備薬・マスク
 わたし: のどあめ・防犯ブザー・ミニライト・携帯トイレ・テレホンカードと小銭・マスク

【ひろしま自然災害VRで出てくる家族(想定)】

自宅(一軒家)に津波の危険性がある家族
 家族構成: 父・母・わたし

名前

お父さん

お母さん

わたし

おじいちゃん (離れて暮らす)

連絡方法

災害用伝言版 SNS (LINE) ショートメッセージ

災害用伝言ダイヤル SNS (LINE) ショートメッセージ (置き手紙)

災害用伝言版 SNS (LINE) ショートメッセージ (公衆電話)

災害用伝言版 SNS () ショートメッセージ (県外に住む)

いざという時に、家族などへ送るメッセージや伝言を考えてみましょう。
 (例:【だれ】は、【どこ】へ避難しました。ケガもなく無事です。)

わたしは「△△小学校」へ避難しました。
 ケガは「有・無」です。

災害用伝言ダイヤル



Point

家族の安否や連絡する方法を考えて共有しましょう。また、いざという時に備えて、ツールの使い方や公衆電話のある場所なども確認しておきましょう

コラム 長時間

南海トラフ地震が起こると、津波にくり返しおそわれる可能性が...
 ▶陸に囲まれた瀬戸内海は12時間程度津波の影響があると考えられています。

津波の高さと被害



Point

日ごろから持ち歩けるものをカバンやランドセルに入れておくと、外出先で地震にあったときなどに役に立ちます

